

お問い合わせ前にご確認・ご検討ください。

2019/3/28

まず下記 6 点ご了承くださいませよう、お願いいたします。(詳細は各項目ご参照ください)

☆**相見積お断り**です。詳細第 9 項ご参照ください。

☆**大スケールには対応いたしません**。初めてのお客様のお問い合わせにつきましては一部例外を除き 100mg 以下、3 工程以上の化合物につきましては最少量 (1mg~10 mg程度) での対応となります。

☆**有機化合物のみです**。無機物には対応いたしません。有機成分の割合が少ない高極性化合物は無機物に近い物性を有するため同じ対応となります。

☆**見積書作成費用は条件付き無償です。(第 1 項参照)**

- ・まず概算金額、納期をお知らせします。概算ご提示は無償です。
- ・ご判断頂きご発注頂けそうであれば見積書作成ご指示を頂いた上で見積書作成、ご提示いたします。

☆**必要情報を漏れなくご提示お願いいたします。(第 2,3 項参照)**

- ・目的物の構造式または CAS 番号
- ・必要量
- ・ご予算上限

☆**弊社は電話のお問い合わせを受け付けておりません。(第 21 項参照)**

必ずメールでのお問い合わせをお願いします。

弊社は以下の 5 点を前面に出しています。

- ・**成功報酬**：目的物が得られなければ原料費を含め一切ご請求しません。見積時点で予測できなかった問題により原料追加購入、合成ルート変更を余儀なくされた場合も追加費用をご請求しません。
- ・**提案型**：必要とされる化合物あるいはご研究の情報を与えて頂ければ合成の立場からお客様のニーズに合わせた合成法、構造をご提案いたします。ご提示いただいたレシピ通りに作業して終わり、ということではなく何らかの改良検討を加えます。化合物の安定性に関する知見、反応機構やデータから副生物に関する予測、分析データの解析、不純物に関する考察、構造活性相関に関する考察、物性等、有機化学専門の立場からお客様に有用と考える情報を積極的にご提示いたします。
- ・**小スケールに特化**：数 g 以下・1L フラスコで対応できる範囲までです。弊社受注案件の 9 割以上は 100mg 以下です。小スケール合成の得意な会社です。
- ・**ファインケミカルに特化**：合成実績のない、他社でギブアップした、あるいは参考文献のない新規化合物について弊社過去の経験を駆使して高難度の合成実績が多数です。
- ・**スポット合成に積極的に対応**：リピートなしの 1 回だけのスポット合成を歓迎です。リピート合成では必ず新しい試みを加え、より高収率で高純度品を提出できるように最善を尽くします。

弊社の受託合成手順は右記の流れとなります。[カッコ内は弊社作業]。・・・お問い合わせ (https://schem.jp/inquiry_j1.php)→[弊社担当からメールご連絡]→必要に応じ秘密保持契約締結*→合成詳細ご提示→[概算ご連絡]→ご発注可否ご検討→見積作成ご指示→[見積書送付]→発注ご連絡→[ご注文確認書送信]→[進捗ご報告]→[合成完了ご報告・試験成績書 PDF ファイル添付]→発送ご指示→[合成品発送 (納品書添付、請求書同梱ご指示の場合は請求書添付)→検収ご連絡 (受領から 2 週間以内にメールでお願いいたします) →請求書 PDF ファイル送信→お支払い。

***秘密保持契約の流れ**：秘密保持契約案を弊社宛てにメール送信→記載内容確認のご連絡→捺印済み印刷物を 2 通弊社宛てにご郵送→弊社印捺印の上ご返送です。

- ・契約に先立ち情報開示頂き日付を遡っての秘密保持契約にも対応させていただきます。お急ぎの場合はお気軽にご相談ください。
- ・秘密保持契約書はお客様の書式で結構ですが弊社雛形も必要に応じご利用ください。
- ・郵送費用、収入印紙代等、契約書作成にかかる費用は全てお客様ご負担でお願い致します。
- ・手続きの一部を省略する場合があります。
- ・上記以外の、または弊社雛形以外の特別形式による文書提出あるいは秘密保持契約等の手続きが必要な場合は金額に影響いたしますので見積前に具体的にご提示頂きますよう、お願いいたします。発注後のご指示は、要した手間に応じた追加

料金をお願いする場合がございます。

- ・必ず文書またはメールでお願いいたします。電話のみによる見積お問合わせ、ご注文は無効です。
- ・見積書、注文確認書、試験成績書、納品書、請求書等、書類は全て納品物に同梱または電子ファイルでお送りいたします。別途郵送をご希望される場合は追加料金で対応させていただきます。

得意技術・分野

弊社ではあらゆる構造の有機化合物に対応いたしますが現在、以下の 2 テーマを中心に自社開発を積極的に進めています。一般の特注合成品よりも安価にご提供が可能です。

- ① ポリエチレングリコール (PEG) 誘導体及び PEG 合成技術を適用した化合物、リンカー
<https://schem.jp/PEG.html>
- ② シクロデキストリン誘導体及び包接 (ホストゲスト) 化合物、ポルフィリン化合物、クラウンエーテル類
<https://schem.jp/cd.html>

その他下記の化合物合成実績が豊富です。

- ・アミノ酸誘導体 非天然型アミノ酸含有ペプチド合成
- ・安定同位体化合物の合成
- ・保護基を用いた合成技術
- ・各種官能基の合成、変換技術
- ・色素・蛍光標識化合物
- ・リンカー設計技術
- ・固相合成技術、ポリマービーズへの結合
- ・Stepwise、Fragment 法による高分子合成

不得意技術

- ・**ポリマー合成**：構造解析が困難且つ合成の再現性が難しいため、重合法による高分子は品質保証できません。一方、ステップワイズ法による単一構造の高分子合成は弊社の得意技術です (PEG、ペプチド)。
- ・**無機化合物**：お問い合わせが結構あるのですが、弊社ではノウハウを持ちませんのでトラブル時の突破力がありません。有機化合物でも高極性で無機含量の多い構造につきましては無機物と同じ対応とさせていただきます。
- ・**金属錯体**：経験が乏しく合成法、精製法、構造確認、純度確認に関するノウハウがありません。対応可能ですが錯体作製工程は成功報酬ではお請けできません。

下記注意事項をご確認いただいた上でお問い合わせ頂きますよう、お願いいたします。

1. 見積は原則無償ですが、下記に該当し且つご発注にならない場合は見積費用を有償とさせていただきますことをご容赦ください。*

- ・工程数が長い、文献入手が困難等の理由により見積書作成に多大な労力を要する案件で正式見積書の作成・提示をご指示いただく場合、概算は無償です。
 - ・原料の海外品を購入する必要がある場合は購入費用を別途で見積書を作成致します。その正確な金額納期を必要とされる場合、有償とさせていただきます。
 - ・同一化合物で2~3通り以上のパターンでの見積書提出をご希望頂く場合、弊社の判断で1通りのみご提示いたしますがお客様のご希望により2通り以上の見積書作成ご指示を頂いた場合、かかる手間に応じて見積書作成費用をお願いすることがあります。：第4項目参照
 - ・その他無償対応では厳しいと弊社が判断する場合。
 - ・秘密保持契約を必要とする場合作成に要する手間、郵送等にかかる費用をご負担願います。
- *見積を有償でお願いする場合は必ず事前にお客様のご了解を得ます。

2. 下記全てのご提示を必ずお願いします。

- ① 化合物の構造式(手書きでも可)または CAS 番号。難しい場合は化合物名のみでも結構ですが、化合物の特定に結びつく資料またはその URL のご提示をお願いします。
- ② ご予算上限：概算で結構です。第8項参照
- ③ ご希望納期：第20項参照

3. 見積金額、納期に大きく影響します。可能な限りご提示をお願いします。

- ・必要量：第11項ご参照願います。ご提示無い場合は最少量で御見積いたします。
- ・必要純度：第10項参照。ご提示がない場合は弊社で選択いたします。
- ・合成法開示の必要有無：第23項参照。ご指定がない場合は非開示で御見積いたします。
- ・秘密保持契約の必要有無：必要な場合のみお申し付けください。
- ・化合物に関する資料：第4項、15項参照
- ・化合物あるいは類似化合物の毒性に関する情報
- ・安定同位体の場合、許容されるラベル種類 (13C、D 等)、ラベル数、ラベル位置のご提示をお願いします。ご提示がない場合はラベル数1以上で最も安価に合成できる構造を弊社で選択いたします。
- ・微量でも混入しては不都合な成分：第18項参照
- ・過去の合成実績有無：お客様で合成実績あれば見積金額に反映します。実験ノート、分析データ開示頂ければ更に大幅割引となります。
- ・市販品の有無に関する情報をお持ちの場合メーカー、金額等の情報：第6項参照
- ・標品ご提供可否：標品を微量ご提供いただければ見積金額が大幅に下がります。
- ・化合物の構造で許容される変更箇所：第19項参照
- ・合成報告書、実験ノート等の提出希望有無：第23項参照
- ・化合物の構造社外公開可否：第24項参照
- ・お支払い条件：第4項参照
- ・構造確認データの種類、純度分析手法のご指定：第4項参照
- ・該当化合物の合成について過去のご検討内容、及び結果：別紙“ご発注前の注意事項”参照

4. 弊社ではコストプラス方式で見積計算しています。原料費、廃液処理費、見積書作成費用、検索費用、構造確認費用、純度確認費用、報告書作成費用、出張旅費と人件費、その他事務手続きに必要な費用すべてが見積金額に含まれます。
- ▶ **合成に関する資料、文献のご提示にご協力ください。** そのものの合成文献、類似構造の合成文献は勿論、合成法の記載がなくてもヒントになる場合がございますので目的物に少しでも関係しそうな資料はご提示頂きますよう、お願いいたします。情報をご提示いただければ見積金額を割引致します。弊社で検索、取り寄せした場合はそれにかかる費用が見積に上乗せになります。
 - ▶ **お支払条件によって金額が変わります。** ご請求からお支払いまでの期間が短いほど安価になりますのでお問い合わせ時には是非お伝えください。ご提示がない場合は最も長いサイトとして計算となり最大 5% 割高になってしまいます。手形お支払いもお受けしておりますが現金振り込みの方が割安です。
 - ▶ **見積書作成にかかる手間**を見積金額に加算いたしますので、出来るだけ条件を絞り込んでご提示頂きますよう、お願いいたします。概算で結構ですのでご予算をご提示いただければご予算内で可能な合成量のご提示が可能です。
 - ・ 例1：10mg,1g,10g の3通り×各純度 95%と 98%の見積ご提示の場合、見積6回分の見積作成のための手間賃がそれぞれの見積書金額に上乗せになります・・・必要最少量の出来るだけ低純度保証の 10mg×95%一通りでのお問い合わせをお勧めします。
 - ・ 例2：10g で一度見積を提示（見積ナンバー1）。その金額を見て 100mg で再度見積依頼（見積ナンバー2）の場合、見積2には2回分の見積書作成費用が含まれ、見積2提出時点で見積1は無効となります。結局 1g でのご依頼ですと再度見積書作成で3回分の見積書作成費用が含まれてしまいます・・・最初にご予算を予めお伝え頂ければご予算内に収まりそうな適当なスケールを弊社からご提案可能です。
 - ▶ 構造解析、純度分析費用も含まれます。お客様でご協力頂ける場合は対応する分析費用を割引可能です。
 - ▶ 目的物が毒劇物の場合、申請が必要になるため申請費用、申請にかかる期間が上乗せになります。
 - ▶ 一度でもご発注実績のあるお客様は 5%以上の割引となっております。初回は小手調べも兼ねて少額でのご発注を是非お勧めします（11項参照）。
 - ▶ 細かくパラメータを設定してご提示金額を設定しているため、どんぶり勘定ではありません。従って合理的な理由のない、いわゆる営業値引きは致しません。逆に理由があれば割引可能ですので、本注意書き及びご発注前の注意書きにも是非一度目を通して頂き、少しでも安価になるような条件ご提示を頂ければ幸いです。
 - ▶ **見積金額計算の根拠は原則非開示です。** ご発注を前提に弊社まで直接お越しいただければ見積雛形をご提示の上で計算の根拠を詳細にご説明させていただきます。
 - ▶ **出張費用が見積に上乗せとなります。** お客様のご要望によりご訪問、面談させていただく機会が稀でございます。過去の実績では残念ながら全て①ただの顔合わせ、挨拶だけに終わる②メールのやり取りで解決できる内容だけに終始、のいずれかでした。面談の場でのお問い合わせに即答が困難で、持ち帰り後日メールで回答ということではご訪問の意味が全くありません。特殊事情を除きお客様のからの要請により弊社からご訪問させていただく場合有償で対応させていただき、それにかかる交通費と人件費を見積金額に上乗せまたは見積とは別途費用でご請求致します。訪問の必要性がないと判断しご訪問をお断りさせていただく場合がございます。弊社にお越しいただける場合は勿論無償ですし、見積価格の割引設定もございます。いつでも何度でも大歓迎いたします。ご来社頂く利点は①ご来社頂いた場合は見積金額に割引設定しています。②当日お話の内容から、別担当がご説明させていただく方が望ましい場合があります。また技術資料、実験ノート等を急遽ご提示など、臨機応変に対応させていただくことが可能です。③弊社実験室をご覧いただくことが可能で、貴社ご要望にお応えできそうか判断材料になります。
5. 合成法の詳細をご提示頂ければ 2 日以内に概算をお知らせいたします。ご提示がない場合は過去の合成経験からすぐに回答できる場合もございますが通常、文献検索・文献取り寄せが必要ですので概算のお知らせに最低でも数日~2週間、合成の難易度次第で1か月以上かかる場合がございます。

6. お問い合わせ前に市販品入手可否をご確認の上、市販品がある場合はメーカーと金額をお知らせ頂きますようお願いいたします。市販で入手出来る化合物はほぼ例外なく、特注よりも市販品購入の方が大幅安価になりますので原則お断りとなります。市販品ありでも特注合成を選択される理由をご提示いただいた上で検討させていただきます。

7. **費用は一般的にどのくらいかかるか・・・**というご質問が多数です。上記方式に加えて工程数、各工程の処理内容、合成スケール、純度により大きく値段が変わります（細かくパラメータを設定しています）ので一般的な値段をお答えするのは困難です。是非具体的案件でお問い合わせください。参考価格は 10mg 1 工程反応・カラム精製で概算 15～30 万円程度+原料費です。最も簡単な反応でも 10 万円以下になることはまずありません。具体例を HP にご提示しましたのでご参照ください。

<https://schem.jp/document/samplesynth.pdf>

スケールに関する記述もご参照ください（第 11 項）

8. 概算で結構ですので**ご予算のご提示にご協力**お願いします。弊社では見積作業は無償で対応させて頂いておりますが、大きな労力を要する作業ですし、文献検索、文献取り寄せ等の費用がかかります。ご予算次第では検索前に結論付けが可能です。ご予算に合わせて金額に下駄を履かせるようなルール違反は致しませんので正直ベースのご予算ご提示をお願いします。ご予算内に収めることが厳しい場合はスケールダウン、低純度保証、分析データ省略、精製省略等、費用圧縮を図ります。ご予算内金額ご提示が不可能と判断して即答でお断りすることがあります。

9. **相見積は原則お断り**です。

特注合成では同じ化合物を合成しても金額が大きく変わることがあります。

- ① 合成ルートが違う：3 工程の反応を 1 工程でできれば金額が 1/3 になります。
- ② 出発原料が違う：論文で 6 工程反応でも 3 工程目の中間体が市販で入手可能であれば半額近くに値段を下げられます。
- ③ 営業的理由で割引価格を設定する場合がある：繁忙期は高く、逆の期間は採算度外視で値段を下げ、稼働率を上げる、または営業的判断で値段を下げる。顧客の予算が十分あると感じればその予算上限一杯、予算が限られていたらその予算に合わせた金額を出す。

- ① は、一見安い方がレベルの高い会社のように思われがちですが必ずしもそうではありません。例えば 1 工程反応では分離困難で構造解析では区別困難な副反応のリスクがあると予想し、保護基を用いて副反応の起こりえない安全な 3 工程ルートを設定すれば高額になりますが確実性の高い納品が可能となります。
- ② 利用実績のない海外メーカー品が見つかったので安易に見積提示し、いざ発注頂き、原料手配した結果入手できないことが判明、再見積でお客様にご迷惑をおかけすることがありますので慎重に判断しなければなりません。
- ③ は言い方が悪いですが、“客の顔色を見ながら値段を決める”です。弊社で唯一の営業割引は季節割引でしかも値引き幅、期間も予め設定済みで、お問い合わせいただければ明確に回答いたします。それ以外のいわゆる営業割引は一切行わず、例えば純度 99%以上を 80%に下げる、合成スケールを 10 mgから 1 mgに下げる等、値下げ可能な合理的理由のみに基づいて再価格設定いたします。

上記以外に各社差別化できる武器を各社持っており同じ手間、時間でもサービスの質でそれぞれ差別化しています。

- ① 反応機構の理解度：反応機構を熟知した上で見積段階から副反応を予想することができ、その副生物ではないことを証明するための手段まで盛り込んだ見積を提示しますのでノウハウなしの見積と比較すると高めになりがちですが間違った判断をするリスクが格段に下がります。当然、成功率も上がりますので納期遅れのリスクも大幅に軽減されます。

- ② 分析データの解析技術、解釈能力：最高の機器を駆使してデータ集めをすればより多くの情報が得られ確実性が増すことは間違いないですが見積金額が跳ね上がります。
高度なデータがあれば万全かという点ではありません。例えばMS分析でM+1のシグナルに振り回されて間違った判断、NMRで微妙なケミカルシフトの差や重要なシグナルを見逃してしまうなど、折角得られた情報を正しく解釈できず、間違った判断をすることが非常に多いのが有機化学の現実で、豊富な知識と経験が何といても決め手となります。必要最小限の機器分析のみで目的物であるか否かを判断するノウハウこそが各社の競争力となります。
- ③ 合理的な手抜き判断：そのものの合成文献があるからと言って、その厳密なトレースが正しいとは限りません。後処理の省略、精製方法の独自変更でより簡便、迅速に目的物が得られるノウハウがあります。合成論文記述とスケールが異なれば多くの場合文献とは異なる方法で後処理、精製の方が適切で、過去の経験と知識がモノを言います。

弊社がどれをとっても一番で100%安心と豪語する気は毛頭ありません。しかし下記の評価をお得意様より頂いており弊社サービスの多くは他社では真似が出来ないと自負しています。

- ・高い成功率：そのものの合成文献がある既知化合物は98%以上の成功実績を残しています。合成法未知の新規化合物も多数成功実績があります。
- ・進捗報告が丁寧
- ・純度が他社品と比較して極めて高い
- ・見積記載の納期ぎりぎりではなく大幅に前倒しで納品されることが多い
- ・有機合成の知識が豊富で合成の立場から詳しいコメントが出てくる

異なるサービス内容で他社と見積金額だけの比較で決められるのは本意ではありませんので、金額比較が目的の相見積はお断りします。他社に全て断られて選択肢がなくなった時点で当社にお問い合わせください。きっとお役に立てると思います。お客様の発注手続き上、相見積が必須の場合はお問い合わせ時にその旨ご提示お願いいたします。

- 1 0. 目標純度が価格に影響します。弊社では特にご指定がない場合、面積比95%以上でご提示致しますが、それよりも低純度で問題ないようでしたら5%以上割安になりますのでご検討ください。逆に95%を超える純度保証を希望されますと合成実績のない特注化合物ではリスクが大変大きく、値段が大幅UPになります。100 mg未満の少量でしたら95%純度保証の場合でも安定性に問題がある、分離困難な不純物等、一部の例外を除き純度99%以上品を納品しています。
- 1 1. 合成スケールで価格が大きく変わります。
最少量(10mg~100mg程度。多段階合成、高価原料を用いる場合は1 mg以下)を強くお勧めいたします。初めての化合物合成はスケールが大きくなるに従いハイリスクになります。
最終的に100mgを超える大量が必要とされる場合も、第一ステップとして1~100mg程度の小スケールで且つ得量提出の予備検討御依頼を強くお勧めします。理由は6つあります。
 - ① 弊社で未経験化合物の合成では考え得る全ての合成リスクを盛り込んだ見積になるため割高な見積金額になりますが合成スケールを小さく設定することでそのリスクを軽減できます。予備検討の結果を踏まえたスケールアップ見積提示となりますが予備検討で感触を掴んだ上での見積のため難航リスクが大幅に軽減された金額設定が可能で予備検討なしの大スケール見積と比較して多くの場合、総額が安価になります。
 - ② 清算時のリスクが大幅に軽減（下記“当社で合成実績のない化合物清算について”ご参照ください）。
 - ③ ご発注実績（回数、受注率）に応じてお得意様割引を設定しています。一度でもご発注実績のあるお客様につきましては（2回目以降の御依頼時は）5%以上の割引価格となります。当社サービスの質を確認する意味でもまず、比較的低価格の小スケールでの御依頼をお勧めいたします。
 - ④ 予備検討ご依頼時にスケールアップ前提とご指定いただければスケールアップ合成ご依頼時に5~10%割引となります。

- ⑤ 得量提出にすることでリスクが軽減、割引価格になります（下記第 12 項ご参照ください）。
 - ⑥ 予備検討で用途が立ち次第、スケールアップ見積をご提示すると共にスケールアップの検討も同時進行するため小スケール→スケールアップの 2 ステップでご依頼いただいても全体の納期はほとんど変わりません。
- 1 2. 当社で合成実績のない新規化合物合成の清算について
- ① 目的物が微量でも得られた場合：合成費用の 50%+原料費+分析費でご請求致します。スケールアップは困難と判断して予備検討のみで終了する場合は予備検討費用+原料費・分析費用全額。
 - ② 目標量の 50%以上が得られた場合：合成費用の割掛け計算+原料費+分析費
 - ③ 見積書備考欄に“提出量保証”の記載がある場合：見積書記載の提出量を合成できない場合は原則ギブアップで原料費を含め一切ご請求致しません。割高金額設定になります。
 - ④ “得量提出”の記載がある場合：少量でも目的物が得られた場合全額ご請求ですが割引価格になります。目的物が全く得られない場合は原料費を含め一切ご請求致しません。
- ・リピート合成の清算について：提出量が目標量に満たない場合は見積金額の割掛け計算によるご請求です。
- 1 3. 弊社は小スケールのファインケミカルに特化しています。10g を超える大スケール合成には原則対応できませんのでご了承ください。
- 1 4. 合成工程数の多い合成には大きなリスクがかかります。見積書に特に記載のない限り最終物提出の成功報酬で見積していますのでそのリスク分を上乗せにした金額、納期設定となっております。幾つかのステップに区切って清算させていただければリスクが大幅に軽減でき、見積金額を下げる事が可能となりますので是非ご検討ください。
- 1 5. 一部の例外を除き成功報酬ですので目的物が全く得られなかった場合は原料費も含め、費用を一切ご請求しません。
- 1 6. 合成処方をご提示いただける場合は割安の金額をご提示できますので処方提示を是非お願いいたします。ご提示頂いた処方のトレースで条件検討が不要の場合は更に値引き対象となります。但し次項の注意点を*をご確認ください。
- *ご提示頂いた処方に従い合成する契約で、処方起因で目的物ができないと判断できる場合は要した検討費用をご請求となりますのでご注意ください。また処方の改良が必要になる場合は追加費用が発生します。但しご提示頂いた資料を参考として活用するだけで弊社の判断で合成法を適宜選択する場合、割引が少ない代わりに成功報酬です。
- 1 7. 毒劇物合成の場合は毒劇物製造申請手続きが必要になります。申請から登録票を受理するまでの約 6 週間は合成着手できませんのでご了承ください。
- 1 8. 秘密保持契約等の契約に対応いたします。一般的な雛形をご提示可能ですのでお申し付けください。手続の迅速化を図るため情報開示・見積作業を先行し、過去に遡る形で契約を結ぶ場合が多いです。化合物入手をお急ぎの場合は契約前の情報開示をご検討ください。契約に必要な収入印紙代、郵送代等は全額ご負担願います（印紙、郵送のための切手をお送り願います）。また契約書の製本が必要な場合は貴社で作成お願いいたします。
- 1 9. 微量でも混入しては不都合な成分がございましたら事前にお知らせください。発注後にお申し出頂いても対応できない（混入品を納品）、または追加費用をお願いすることになります。
- よくある事例：ハロゲン系溶媒（輸出不可）、TFA 塩、トリエチルアミン塩、Phenol（細胞毒性）、塩ではなくフリー体指定、無機塩、金属イオン。

- 2 0. 化合物の構造を一部でも変更可能な場合はお申し付けください。わずかな構造の変更だけで合成ルートが大幅に変わり格安になるケースがございます。
- 2 1. お急ぎの場合は可能な限り納期短縮に努めますのでお申し付けください。その際、特急料金を事前にお問い合わせください。逆に納期に余裕がある場合は割引可能ですので御相談させていただきます。
- 2 2. お問い合わせ、打合せ手段について：お電話ではなく必ずメールでのお問い合わせをお願いします。電話は手軽ではありますが証拠が残らない（言った、言わない、の話になる）、低音質で聞き取り間違いの可能性、手元に判断材料がなく即答困難等の理由により打ち合わせ、情報伝達的手段としては不適と考えております。
直接面談は打ち合わせ方法として有効且つ創造的で、メールのやり取りだけでは難しい画期的アイデアが創出される手段と認識しています。メールで複数回やり取りさせて頂いた後、必要に応じ直接面談による打ち合わせお申し付けください。何度でも弊社にお越しいただき面談打合せ後、ご希望ございましたら弊社実験設備をご覧いただけます。
尚、お問い合わせ段階での弊社からお客様へのご訪問はお断りさせていただいております。第 4 項ご参照ください。
- 2 3. 弊社ではお問い合わせが期末に受注が集中する傾向がありますので季節割引を設定しています。お問い合わせ時期の調整が可能でしたら 12 月～3 月を避けたお問い合わせを是非ご検討ください。期が変わった直後（4 月）と夏季（6 月～8 月）にお問い合わせいただければ最も割引率が高くなります。
- 2 4. 合成法、合成中間体構造は原則非開示です。合成法を含む合成報告書提出をご希望の場合は事前にお申し付けください。合成法開示+合成法報告書作成のための費用を含んだ見積書をご提示いたします。発注後の報告書提出、合成法開示等お申し出は一部例外（後述“ご発注前に必ずご確認・ご検討ください”第 8 項に記載）を除き、全てお断りいたしますのでご注意ください。
- 2 5. 秘密保持契約有無に限らず弊社ではお問い合わせの事実を含めご依頼内容を了承なく外部に公表することはございません。
・秘密保持契約を文書でご希望の場合は迅速に提出致しますのでお申し付けください。
・構造解析及び合成作業の一部を弊社の判断で外部委託し、構造を委託機関に開示する場合がございます。外部委託が不可の場合は契約書に盛り込むか、または御発注までに文書またはメールにてご指示頂きますよう、お願いいたします。
・お問い合わせいただいた化合物合成に関して得られたノウハウは別案件の合成に応用する可能性がございますので予めご了解ください。
- 2 6. 弊社で合成実績のある合成化合物の構造を技術資料、社内外データベース転載等により一般公開する場合がございます。お問合せ頂く特注化合物の構造を社外公開しても構わないお客様はお申し付けください。最大 5%割引いたします。ご指定がない場合は非公開で対応させていただきますが既知化合物、最終化合物の構造が推測困難な中間体、モデル実験で合成した化合物等につきましては公開の対象となりますのでご了承ください。契約書に公開不可の記載挿入等、必要に応じて別途ご相談させていただきます。尚、化合物構造を公開する場合にもお客様に関する情報は一切非公開です。
- 2 7. 合成中間体が既知化合物の場合、その化合物の構造や合成法を資料として社外公開、あるいは化合物を弊社の製品としてカタログに掲載・販売する可能性がございます。納品 2 年を経過後、合成中間体、最終化合物の構造、合成法等を弊社営業資料等で社外公開する可能性がございます。社外に公開することでご迷惑をお掛けする可能性がある場合は契約書に盛り込むか、またはご発注までに文書またはメールにてご指示頂きますよう、お願いいたします。

28. お客様からご依頼頂いた合成品の構造を上記に従い情報公開し、一般のお客様で成約に至った場合はその売上金額の一定額分(5~10%)を次回ご依頼の際に割引または無償合成させていただく場合がございます。詳細は別途お問い合わせください。
29. 代理店様経由でのお支払いをご希望されるケースが近年増えております。代理店様向け割引は特になく、代理店様の取次マージン分が単純に上乗せとなりますのでご注意ください。
30. 商社様、代理店様へ：弊社名を伏せて仲介される場合は該当しませんが合成委託先として弊社名をユーザー様に開示される場合は下記2点を取引条件とさせていただきますのでご了解頂きますよう、お願いいたします。
- ① 見積ご提示前に弊社が合成製造元であることをユーザー様に通知頂くと共に弊社にもその旨お伝え頂きますよう、お願いいたします。最初の打ち合わせ段階で同席させていただけるようでしたら是非お願いします。発注後、特にトラブルが生じた後に製造元責任として弊社名を初めて出されるのは対応をお断りいたします。
 - ② 仲介料(マージン率)をユーザー様または弊社どちらかに開示願います。常識を超えた高額な仲介料を上乗せした金額がユーザー様に提示されてしまった過去の苦い経験から、間接的に弊社の金額が高いという印象をユーザー様に持たれることを避けたいのが理由です。
31. 素人に分かるように説明してほしいというご質問を時折頂きます。
BtoB ですので化学の基礎用語を理解できている方が対象です。WEB 検索で容易に確認できる程度の基礎用語は一通りご理解頂いた上でお問い合わせいただきますよう、お願いいたします。大学経理ご担当者様に右記お願いです。見積書記載内容、用語等につきましては弊社ではなく研究窓口のご担当者様にご確認頂ければ即、解決いたします。
逆に機器分析装置の詳しい原理を問われたことがあるのですが私共分析装置の専門家ではございません。機器メーカーにお問い合わせ願います。

続く“ご発注前の注意事項”も併せてご一読いただきますよう、お願いいたします。

ご発注前に必ずご確認ください。

下記記載事項を全てご理解いただける前提での契約となります。ご不明な点は必ずご発注前にご確認くださいいただきますよう、お願いいたします。

本注意書きはこれまで弊社代表者が 30 年超の受託合成ビジネスで一回以上経験したトラブル全集といえるもので、“何でこんなことまで念押しする必要があるの？”というような、ある意味馬鹿げた項目が多数含まれております。ほとんどのお客様にとって多くは無意味な内容となってしまいますが趣旨をご理解いただき必ず最後まで目を通していただきますよう、お願い申し上げます。

ご不明な点は些細なことでもご発注前に弊社までお問い合わせいただきますよう、重ねてお願いいたします。

重要事項 5 点お願いです。(詳細は各項目ご参照ください)

1. 見積書記載事項をご確認ください。特に備考欄にその化合物特有の注意事項を記載しています。
2. 見積有効期限内に必ずご発注の可否についてご連絡いただきますよう、お願い致します。
 - ・ご連絡がない場合期限切れで自動的にキャンセルとなり期限切れ後のご発注は見積書再発行で見積金額、納期共に変わる可能性があります。
 - ・予算取り等の事情によりご判断に時間がかかる場合はその旨有効期限内にご連絡いただければ有効期限を無期限延期で対応させていただきます。
3. **本紙記載事項を全て了解頂いた上でご発注ください。**お気づきの点、修正ご希望箇所がございましたらメールまたは文書で必ずご発注前にご確認くださいいただきますよう、お願いいたします。
4. 見積書に記載がない、または本書で省略となっているが必要とお考えの追加作業等がございましたら必ずご発注前にご指定ください。弊社で必要十分と考える品質と保証内容で価格設定しております。特殊ケースにも細かく対応させていただきますが相応の追加費用が必要となります。逆に省略できる作業分には割引の可能性がございます。ご発注後のお申し出は原則すべてお断りで、対応可能な場合も割高の追加費用と追加納期がかかります。
5. 弊社の提供する合成品は全て研究用試薬です。提出品の性質、危険性等を熟知した専門家のみが扱ってください。研究以外の目的に使用しないでください。

1. 見積ご提示後、合成完了までの手続きについて

- ・ご発注後の進捗状況は月平均 1 回程度の頻度で進捗に合わせて不定期にメールでご報告いたします。
- ・契約書、備考欄に特に記載が無い限り見積書添付資料欄記載のデータを含む試験成績書を添付して合成品を納品致します。添付資料欄、備考欄に記載がある場合のみ報告書を提出し合成法、実験条件等を開示いたします。実験詳細条件・合成法の開示、実験ノートや生データ、報告書等の提出をご希望される場合は見積書をご確認頂き、記載がない場合は必ずご発注前にメールまたは文書でご指示いただきますよう、お願いいたします(第 10 項にも同様の記載)。尚、弊社の判断で必要に応じて進捗報告書を提出する場合がございますが、事前に追加費用をお願いしない限り無償です。
- ・合成完了ご報告後、早期納品へのご協力をお願いいたします。お客様のご都合により合成完了ご報告後の発送ご指示が 1 週間以上遅れとなり弊社で保管する場合、保管費用を追加ご請求致します。また弊社保管中分解等の責任を負えません。
- ・**2 週間以内の納品物確認、検収にご協力をお願いいたします。**合成完了報告後 2 週間以内ご連絡がない場合は検収頂いたと理解しお客様のご了承なく請求書をお送りいたします。2 週間以内に検収困難な特殊事情につきましては事前にお申し出頂いた場合に限り 30 日を限度に待機いたします。

2. 納期について

- ・見積記載の納期を厳守すべく全力を尽くします。特注合成は不確定要素が多く、予期せぬ難航により大幅納期遅れの可能性がございますのでご理解頂きますよう、お願いいたします。
- ・納期厳守が必要な場合は弊社で責任を持てる範囲でご回答いたしますので、必ずご発注までにお申し付けください。
- ・見積書記載の納期は概ね 2 週間+工程数×2 週間と機械的に設定、納期遅れを防ぐ目的でもかなり余裕を持たせた納期でご提示しております。見積書記載の納期のみで発注を見送られるお客様が時々おられるのですが非常に残念です。納期についてご要望がございましたら臨機応変に対応いたしますのでお気軽にご相談ください。ご発注時の混み具合により弊社

の処理能力を超える納期をご希望される場合、①同額で対応可能、②特急料金で間に合わせられる、③対応困難（間に合わない）のいずれかで明確に回答させていただきます。極力①で対応させていただけるよう、社内調整いたしますのでお気軽にご相談ください。

- ・特急料金でご依頼頂いた案件（特急料金の旨、見積書備考欄に記載いたします）で弊社の都合により納期に間に合わない場合は通常料金でのご請求とさせていただきます。購入原料の入荷遅延、外部委託分析の遅延、目的物の安定性起因で局面打開に多大の時間を要する場合は納期遅れでも特急料金でのご請求となります。
- ・納期内の納品を見越してお客様で実験計画を立てられる場合、納期遅れに伴う損害等には一切責任を持ってませんのでお客様の自己責任でお願いいたします。納品物受領、検収後の実験計画を強くお願いいたします。
- ・最初に設定した合成法につまずいても、多少の修正で克服できる可能性がある限り納期を大幅に超えても当社はギブアップせずに頑張ります。納期の大幅遅れ、用途が立ちそうにない等の状況を考慮され、キャンセルのご判断をお客様にお願いいたします。キャンセルすべきか否かの判断材料は可能な限り詳細にご提供させていただきます。
- ・特別な事前取り決めがない限り原則、確認書送付まで合成に着手しません。原料、標準品、合成処方いずれかをご提供頂く契約の場合はお早目の対応、ご協力をお願いいたします。
- ・“納期厳守”の契約で納期までに目的物を発送できない場合は一律キャンセルとなり、納期変更はありません。“厳守”の納期に合わせて実験スケジュールを組み、場合によっては要検討項目を残し“玉砕”の判断をする場合がございますので、一般納期案件とは異なる考え方で作業を進めます。お客様のご希望としても納期変更には応じませんのでご理解いただきますよう、お願いいたします。ご検討可能であれば一旦キャンセルの上で変更納期、金額で別途ご相談させていただきます。

3. 原料及び標品について

原料費が高額、弊社では入手困難等により、原料のご提供をお願いする場合がございます。目的物、中間体の標品をご提供いただく契約では割引価格を提示させていただいております。

① 原料の一部または全てをご提供いただくケース

- ・原料を全量処理し、見積書記載の提出目標量を上限として得量提出いたします。
- ・ご支給いただく原料は検討の結果に関わらずご返却しません。
- ・ご提供いただく原料、標品が市販品の場合はメーカー一番の記載をお願いします。
- ・ご提供頂く原料あるいは標品が市販品でない場合は、同一ロット品でしかも発送直前の構造確認データ、純度データを必ず添付願います。添付頂けない場合は合成を辞退いたします。受領後速やかに弊社設備で分析し、結果をご報告いたします。
- ・原料、標品の品質に問題ないことを確認した後に合成着手いたします。分析の結果、標品が目的物を含まないまたは原料の純度が不十分な場合は代替品のご提供をお願いいたします。要した作業に応じて分析費用+構造確認費用を追加ご請求いたします。
- ・純度が悪く合成原料として使用するために前処理・精製・構造確認等が必要となる場合は精製に要する費用が別途かかります。
- ・合成で使用するまでの間弊社で冷蔵または冷凍保存致しますが、保管中の分解につきましては保証できません。使用時に分解が認められる場合、高純度品を再度ご提供願います。
- ・ご提供試薬の純度が不十分と弊社が判断する場合は原則合成中止です。別途費用で原料の精製に対応可能な場合がございますのでご相談させていただきます。
- ・お預かりした原料の一部を用いてまず小スケール検討を行います。小スケール合成の結果がスケールアップに再現できない場合があります。
- ・小スケール検討の結果、目的物が得られず合成断念する場合がございます。その場合備考欄に特に記載がない限り合成費用をご請求しません。お預かりした原料は使用した残りをご返却いたしますが消費分の弁済はご容赦ください。
- ・小スケール検討で目的物が得られたものの収率・純度に満足頂けずスケールアップを断念する場合は小スケール検討費用+原材料費+分析費用+廃液処理費用をご請求いたします。お預かりした原料は使用した残りをご返却いたします。
- ・目標量を得るために原料が不足して追加ご提供をお願いする場合がございます。得量提出の契約または追加ご提供頂けない場合は得量提出で全額ご請求となります。

② 原料を弊社で手配するケース

- ・原料は弊社で調査、見積、発注致します。

- ・原料明細は原則非開示です。お客様のご指示により原料明細提出に対応いたしますが弊社の判断で原料の種類、購入量を変更する場合がございます。
- ・合成のご注文ご連絡を頂いてから原料手配いたします。手配した原料入手不可が判明し合成ルート変更を余儀なくされる場合は合成のご依頼を一旦キャンセルとさせていただきます、再見積りで対応となります。
- ・見積時から原料の価格が変更となった場合は追加原料費でご相談させていただきます。
- ・想定外の低収率により目標量を得ることが出来ないと予想され原料追加購入費用が高額な場合は得量で清算させていただくか、追加購入費用についてご相談させていただく場合がございます（見積書備考欄に記述）。
- ・提出量が目標量に到達せず追加原料入手困難、原料が高額等の理由により追加合成困難で目標量未満の提出量でご容赦いただく場合がございます。
- ・弊社は原則成功報酬でご提示しておりますので原料費が高額でも目的物が全く得られない場合原料費を含め一切ご請求しませんが、見積にはそれにかかるリスク分が上乗せ（原料費は定価の 20~50%割増）になっております。合成法既知（お客様からご提示の合成法に従い合成する）で原料をご提供頂ける場合はそのリスクが発生しませんので割安になるとご理解ください。総額を抑えるためには原料一式をお客様で手配してご提供頂く方式を是非ご検討ください。

4. 構造確認、純度分析、品質保証、納品物の性状等について

以下のいずれかに該当するお客様は特に熟読願います。

- 目的物の含量が重要
- 性状が気になる（結晶性、溶解性、色等）
- 納品物の活性、反応性等が重要
- 安定性に問題がある、分解しやすい
- 微量でも混入しては不都合な成分がある
- 特定の分析手法、条件が必須
- 不斉中心がある化合物、異性体が含まれる可能性のある構造
- 酸性、塩基性物質、4級塩（Ammonium、Phosphonium等）
- 正確な分子量を知りたい

これまでの経験でほとんど全てのご要望にお応えできると考えますが相応の手間と費用を要し再見積となります。ご発注後のお申し出は原則お断りです。

4-1 構造確認

- ・TLC、HPLC、GC、LC-MS、GC-MS：弊社装置で分析いたします。弊社にない装置を用いる機器分析はすべて外部機関に分析依頼いたします。特殊条件を必要とする場合はカラム購入あるいは貸与等含め別途ご相談となります。分析解像度、分析データ品質等が重要な場合、ご発注前に必ず装置スペックについて弊社までご確認願います。
- ・構造確認にご協力頂ける場合、相応の分析費用分を割りいたします。見積記載の提出量の一部または全量を分析に供することになります。分析後サンプルの回収や精製単離が必要になる場合、別途費用で承ります。
- ・見積書記載の分析手法で得られるデータで目的物であることに矛盾しないデータが得られれば目的物と判断して納品いたします。見積書記載以外の分析手法を必要とされる場合、ご発注前にお申し付けください。
- ・弊社からご提示の確認データでは不十分とお客様がご判断される場合、弊社で対応可能な範囲で追加分析に対応させていただきます。追加分析の結果、納品物が目的物であるという弊社の判断に間違いがないことが確認された場合は追加分析費用を上乗せ請求となります。
- ・一般にそのロット品が目的物であると“証明”するための厳密な構造確認には化合物の構造によっては莫大な分析費用と手間がかかる場合があります。対費用効果で必要最小限の分析項目を見積ではご提示しております。例えば NMR なしでも目的物を断定できると判断する場合は価格を抑えるため NMR 分析を省略し、見積書に記載していません。特定の分析手法が必須とお考えのお客様は見積書添付データ欄を再度ご確認ください。見積書記載以外の手法による構造確認、純度確認をご希望の場合はご発注前にご指定いただきますようお願い致します。弊社で対応可能な項目を盛り込んで再見積いたします。
- ・見積書記載の分析手法では目的物と判断できる有力なデータが得られず別手法の分析が必要となり、追加費用をご相談させていただく場合がございますが事前にお客様のご理解を得るように致します。
- ・構造確認は上記機器分析データのみで機械的に判断することはせず反応の様子、TLC の挙動、原料との比較、モデル実

験、誘導体化による確認、過去の類似反応の経験等を総動員して総合的に判断致します。限られた情報から目的物であると判断する精度が他社と最も差別化できる技術、ノウハウであると自負しています。

しかし 100%間違いのない目的物を納品可能かと問われれば残念ながら“No”です。限られた情報で 100 に近づけるべく最善を尽くしますが予期せぬ副反応、参照文献の記載間違い、市販原料起因による副反応等、想定外の要因に加え、弊社の判断ミスその他、間違った判断をする可能性はゼロではありません。また合成法、精製法等のノウハウは備考欄に特に記載がない限り非開示とさせていただきます。従って納品物が目的物と判断するに至った詳細な経緯をご報告することではなく、見積書記載の分析データのみでご報告いたします。この考え方に同意いただき、弊社の判断を信頼頂ける方、お任せいただける方のみがご発注頂きますよう、お願い致します。

- ・見積金額には 1 化合物に 1 回の構造確認費用が含まれます。通常予備検討で単離したロット品を用いて構造確認を行います。スケールアップ合成で得られた別ロット品については HPLC リテンションタイムまたは TLC スポット位置等予備検討品との一致のみで判断いたします。ロットごとの構造確認にも対応させていただきますが追加構造解析費用がかかります。
- ・既知化合物は文献値を重要な参考データとして活用します。文献値と実測値が微妙に異なる場合が少なからずありますが、目的物であると弊社で判断した場合は納品致します。再分析は別途費用で対応となります。
- ・正確な分子量を知りたいというお問い合わせを受けることがございますが酸性、塩基性化合物では塩を形成したり、水和物になる可能性があります。構造式だけでは判断が出来ませんし予想外の塩、水和物を形成する場合がございます。正確な把握には多大な分析費用が掛かりますので弊社では保証外、各種分析には別途ご相談で対応させていただきます。

4-2 純度確認

・見積書記載の純度を目標とします。純度向上が特に困難でない場合は通常、98~99%以上で提出します。逆に不純物除去が困難で目標純度達成が難しい場合は不純物込で一旦納品、全額請求で清算させていただき、追加精製について別途ご相談となります。純度は備考欄に特に記載がない限り弊社の分析装置を用い弊社で設定した分析条件で得られたクロマトグラムの面積比で純度を判断いたします。絶対純度、含量、モル%、重量%いずれでもありませんのでご注意ください。正確な純度、含量を必要とされる場合も対応可能ですが金額、納期が大幅に変わって参ります。必ずご発注前にお申し付けください。

・目的物の安定性起因で高純度品が得られないことが判明した場合目標純度未滿で提出、満額清算させていただき、安定性試験、安定な条件での精製条件確立等につきましては別件としてご相談させていただきます。安定性起因で精製困難と弊社が判断する場合は未精製で提出いたします。

・納品物の純度についてご不明な点が生じ、お問い合わせいただいた場合はすぐに対処いたします。納品時点で納品物に何らかの欠陥があることが判明した場合、クロマトグラムで検出出来ない不純物の存在が明らかになった場合等、再精製・代替品の合成に取り組みますので別途ご相談させていただきます。検討の結果納品物の純度には問題なく保存中の分解、ご使用時の操作等が起因しての純度低下と証明された場合は弊社での確認実験に要した費用全額または一部別途ご請求する場合がございます。

以下の基準で測定、純度を判断します。

- ① UV 吸収が弱い化合物：HPLC UV クロマトグラムで面積比。目的物の極大吸収波長を選択
- ② UV 吸収がなく揮発性のない化合物：HPLC ELSD 検出器によるクロマトグラムで面積比
- ③ UV 吸収がなく揮発性の高い化合物：GC または GC/MS (TIC) クロマトグラムで面積比
- ④ UV 吸収、揮発性がなく ELSD でシグナルなし、MS シグナルが検出される化合物：LC/MS TIC クロマトグラムで面積比
- ⑤ HPLC、GC、LC/MS いずれでもシグナルが検出されない化合物：TLC ワンスポット画像データで判断
- ⑥ 分析中に分解が起こりそのものの純度測定困難な化合物：誘導体化して GC、GC/MS、HPLC、LC/MS いずれかの手法で純度分析

・見積書記載以上のスペックをご発注後にご希望頂く場合は一旦契約完了請求後、別途費用で追加精製対応させていただきます。見積書記載の目標純度を既にクリアしているロット品につき更に純度向上を目的として再精製をご希望される場合、技術的に可能と弊社が判断する場合のみ追加費用で対応させていただきます。

・化合物の性状につきましては備考欄に特別な記載がない限り保証外とし、文献記述では固体、粉末でもシロップまたは液体で納品する場合があります。加温、冷却、長時間減圧処理、超音波処理等、詳細な検討で結晶化する場合がありますが、別途費用での対応とさせていただきます。

・液体またはシロップの場合、減圧乾燥で溶媒の完全除去が困難で数%程度残存することがあります。

- ・微量の不純物起因で着色する場合があります。スペックは試験成績書の純度のみで判断します。臭気も同様です。脱色等の処理につきましては別途費用で対応させていただきます。
- ・無機物が混入しない精製法を通常選択しますが除去困難な場合があります。微量の無機物混入が不可のお客様はご発注前にお申し付けください。
- ・リピート合成の場合、前回と同等品質を原則保証していません。前回品と同等の品質、性状等であることの保証、前回品との比較分析データの報告を必要とされる旨、ご発注前にお申し付け頂いた場合のみ対応いたします。必要とされる保証程度、作業内容次第で価格納期が大幅に変わります。

他社品、市販品との比較分析につきましても上記と同様の対応となります。

- ・光学純度について：光学活性原料を用いて誘導する場合、見積書備考欄に特に記述がない限り原料の光学純度、合成途中のラセミ化の可能性は考慮せず原料、中間体、提出品の光学純度確認一切を省略し、光学純度を保証外とさせていただきます。光学純度の確認、保証を必要とされる場合は必ずご発注前にお申し付けください。
- ・異性体が含まれる可能性のある原料につきましてはお客様からのご提供、弊社手配いずれの場合も原料の純度は保証外とさせていただきます。原料中の異性体が起因して提出品の純度に問題があり、再合成の必要が生じる場合は有償対応となります。
- ・糖類の合成で α 、 β が生成する可能性がある場合、参考文献の記述を信用して詳細な構造解析を省略します。 α/β 比率は詳細な構造解析により可能と思われませんが別途相談をお願いいたします。
- ・見積書記載の化合物の性能等につきましては原則弊社の責任外とさせていただきます。以下に例を示しますが、それに限定するものではありません。

納品物を用いて反応を試みたがうまくいかない。

弊社から納品したモノマーを用いて重合しようとしたがうまく重合しない。

期待したよりも溶解性が悪い。

4-3 含量保証について：弊社では原則合成品の含量保証、含量測定は致しません。ご発注前にご相談させて頂いた場合のみ、下記条件で対応させていただく場合がございます。

- ・q-NMR で確認可能な化合物に限り対応。
- ・合成と含量保証は別依頼で対応。合成完了時に合成費用の請求を行い、含量測定は別依頼で対応。
- ・含量保証については技術的に可能と思われる場合のみ別費用で再精製対応。
- ・提出分の一部を用いて分析。回収再精製費用は別途。

4-4 その他

- ・秤量は 0.1 mg までの電子天秤を使用します。弊社には専用天秤室がなく $\pm 0.3\text{mg}$ 程度の秤量誤差は避けられませんので特に 10 mg 未満の場合はご注意ください。正確な秤量値のご報告、重量測定が可能な場合がありますが別途ご相談となります。ご発注前に必ずお申し付けください。
- ・特注合成品は保存安定性についての知見がないため、保管中の分解に注意が必要です。合成完了・純度確認、試験成績書提出後最短での全量納品を希望いたします。納品ロットの純度確認分析後に起こる分解等につきましては保証外とさせていただきます。安定性試験、分解防止のための検討につきましては別途費用でご相談させていただきます。一部納品で残りの保管も有償で承りますが、納品後や保管中の分解等につきましては補償外でお願いします。化合物の性状、安定性、安全性等の情報は十分ではありませんのでご使用されるご担当者の責任で扱っていただきますよう、お願いいたします。化合物の性質に起因する如何なる損害にも弊社では一切責任を負えません。
- ・酸性または塩基性化合物について、備考欄に特に記載がない限りフリー体での提出を最初に検討しますが安定性、精製の容易さ等を考慮し精製の都合上何らかの塩で提出する場合がございます。また実際の納品物が見積書記載と異なる場合（フリー体→塩として提出、カウンターイオンの変更等）があります。

ご発注後に塩の種類をご指定頂く場合は技術的に可能な限り対応いたしますが以下の3点ご了解ください。

- ① 処理前の現品で一旦終了、清算させていただき別件ご依頼とさせていただきます。
- ② 追加作業により大幅減量の可能性があります。不足分の追加合成は別途ご相談となります。
- ③ 追加作業による分解、純度低下等は保証外です。お客様のご希望によりその分解物除去のため再精製が必要となる場合は更に別途ご相談となります。

「お問い合わせ前にご確認ください」第18項もご参照ください。

- ・契約書、見積書備考欄に特に記述がない限り期待する活性が得られないという理由での検収拒否はご容赦ください。
- ・精製、純度確認後の分解につきましては保証外でお願いいたします。安定性試験は別途ご相談で承ります。
- ・合成完了のご報告からお客様のご都合により納品日が遅れる、または分納一部弊社保管で、弊社保管中に分解していたことが明らかになった場合：分解したロット品も含め全量納品して全額ご請求致します。再合成等は別途ご相談となります。
- ・合成完了後、契約に基づいた構造確認データ、純度データをご報告いたします。必要に応じお客様ご自身による分析で目的物であることをご納得いただいた上で検収ご連絡を頂きますよう、お願いいたします。検収頂いた日から**3か月以内**に提出品に目的物が含まれない証拠が弊社またはお客様の分析から判明した場合、下記内容で対応させていただきます。返金、損害賠償には応じられません。
 - ① 無償再合成。納期については別途ご相談。
 - ② ①で合成ルート的大幅変更が必要で費用が前回ご請求金額を大幅に上回る場合は合成スケールの縮小、追加費用等について別途ご相談。
 - ③ 再合成の原料費が前回納品時と比較して大幅に上昇または再合成の原料が入手できなくなり原料合成が必要になる場合は原料費用追加について別途ご相談。原料費用の追加負担をお願いできない、または弊社設備の制約等により原料合成が出来ない場合は下記④に準ずる。
 - ④ ①が不要とのご判断、②または③をご相談できない、または再合成失敗でギブアップの場合は入金相当の役務（別化合物合成、精製、分析等、弊社で実行可能な作業）を無償提供。試薬、器具等の購入による弁償はご容赦願います。
 - ⑤ 参考にした論文、特許、資料等の記載間違いが原因の場合：参考文献コピーご提示でご容赦頂き、再合成等については別途ご相談。
 - ⑥ 安定性起因：保証対象外
 - ⑦ 添加物、不純物に由来して期待した性能・活性等が出ない場合：保証外。添加物・不純物の除去等について別途ご相談。
- ・同一化合物のリピートご依頼の場合、過去の合成ロット品と同等または同等以上の品質を保証するものではありません。保証を必要とされる場合は必ずご発注前にご相談させていただきます。ご発注後のお申し出はお断りいたします。
- ・同様に他社品との比較で同等または同等以上の品質を保証するものでもありません。

7. 清算方法について注意事項

7-1 見積書備考欄に特に記述がない限り、成功報酬です。目的物が全く得られない場合は原料費、分析費等を含め一切ご請求しません。原料が不足して追加購入が必要になる場合も追加費用が掛かりません。弊社で当初設定したルートでは不成功で合成法変更の必要が生じた場合も追加費用をお願いすることはありません。

但し以下にかかる追加費用をご負担願います。

- ① 見積書記載のスペック合格範囲内のロット品をお客様のご希望により追加精製する場合、その精製費用。追加精製に伴う減量を補填するため追加合成が必要になる場合、その追加原料費と合成費用。
- ② 見積書記載以外の分析を実施する場合、それにかかる実費及び工数分。お客様のご希望により同一構造の化合物を複数回分析する場合、その追加分析費用。
- ③ お客様から原料をご提供いただく契約で原料を弊社で購入となった場合、その購入費用と手数料
- ④ お客様からご提示いただいた合成処方に従い合成する契約でトレース実験したが目的物が得られないまたは低収率により追加合成が必要になる場合その追加合成費用分

7-2 下記につきましてはお客様にリスクをご負担いただきます。

- ・目的物の安定性に関するリスクを負担できません：お客様から事前に安定性情報を与えていただける場合、予測が容易な不安定要因については見積りに盛り込むことが可能ですが予想以上に不安定で精製に苦労した経験が過去に数多くあります。ちょっとした工夫で克服できる場合は問題ありませんが容易でない場合安定性試験、分解を免れる精製法の確立に多大な手間と時間を要します。この条件検討に要する費用は見積金額に含まれませんので、お客様のご負担をお願いいたします。

目的物の存在が確認できたにも関わらずその不安定性に起因して精製出来ない場合は未精製の段階で一旦全額ご請求させていただきます。単離精製のための検討につきましては別途でご相談させていただきます。検討の結果、単離できないという結論に至る可能性がございますが返金はご容赦ください。

- ・想定が容易ではないリスク分は見積金額に含まれません。：予想困難な副反応、文献記述間違い、購入試薬の構造間違い等。合成品が目的物ではないことを確認することが容易ではなく、間違った判断をして納品してしまうケースが全くゼロではありません。可能性が極めて低いリスクまで見積に盛り込むと非現実的な金額になってしまいますので“100%間違いのないものを納品”ではないことを理解いただきますよう、お願いします。
- ・分離困難な不純物除去に関して：予想外に分離困難な不純物のために目標純度品提出が困難と弊社が判断する場合は目標純度以下の提出、未精製で提出、または一部のみ精製でご容赦いただき一旦全額ご請求で清算させていただき、不純物除去費用につきましては別途ご相談とさせていただきます。
- ・大スケール合成のリスクを負担できません：当社で未経験化合物の合成スケールが 100mg を超える場合、見積書備考欄に特別な記載がない限り成功報酬ではありません。結果に関わらず（目的物が全く得られなくても）見積書記載の全額をご請求します。
- ・合成法指定の場合、トレース実験省略分のリスクをご負担願います：合成処方をご提示いただき、処方に従い合成する契約の場合、合成不成功のリスクがないとして割安の見積金額となっております。処方に起因して合成できないと判断できる場合は、目的物が得られなくても検討にかかった費用を全額ご請求いたします。ご提示処方に起因することを証明するための実験が必要になった場合はそれにかかる費用を別途ご請求させて頂く場合があります。別ルートでの調査、検討は一旦ご請求処理の後、別途相談で対応させていただきます。
- ・事前告知のお願い：弊社にお問合せまたはご発注頂く以前に何らかの手段で合成を試み不成功、難航の実績がある、またはその間接的情報としてご存知の場合はご発注前に具体的情報のご提示をご契約の条件とさせていただきます。この告知を怠ったことが明らかになった場合は弊社検討の内容、結果如何に関わらず見積金額全額をご請求致します。見積書記載以外の追加費用をご請求する場合もございます。

7-4 原料が高価あるいは収率予測が困難等の理由により見積記載の提出量を確保することが難しくなるケースが頻繁に起こります。目標量を確保するため原料の追加購入、追加合成のリスクが生じます。見積書備考欄に“**得量提出**”の記述がある場合はそのリスクを含まないため通常の提出量保証と比較して割安の金額設定となっております。収率が予想を大幅に下回り目標量に満たない場合でも見積金額での清算させていただき（上記②のケースでは全額ご請求となります）追加合成は別途ご相談となりますので“得量提出”にかかる割引とリスクをご理解いただきますよう、お願いいたします。**目標量の提出が必須の場合**は割高になりますが提出量保証の形で再見積致しますのでご発注前にお申し付けください。

7-5 正式ご発注頂いた後のお客様ご都合によるキャンセルは下記の清算方法でお願いします。

- ・弊社がキャンセル連絡を受けそれを了承した時点までにかかった原料費、外部委託費用、分析費用、廃液費用、発送費用等の実費を全額ご請求いたします。
- ・既に作業に取り掛かっている場合は、実施済み作業に応じて計算した額を上記に上乗せしてご請求します。
- ・ご連絡いただいた時点、下記いずれかに該当し目的物の用途が立っている場合は見積記載の全額ご請求致します。
 - ☆予備検討で目的物の存在を LC/MS、TLC、GC/MS 等で確認できており、メール等で概要ご連絡済み。
 - ☆予備検討で難航ステップを乗り越えた後で難易度の低いステップを残すのみの合成中間体の生成が確認できている旨、メール等でご連絡済み。
- ・弊社からご提示する**見積書、確認書**、お客様のご希望により別途作成する**契約書**のいずれかに記載された内容のみが**契約として有効です**。左記いずれにも記載されない要求事項を満たさないという理由での一方的なキャンセル、合成成果物の受け取り拒否*はおお客様の契約違反と見なします。その場合お客様の合意を必要とせず弊社の判断でいつでも契約金額全額ご請求または弊社から一方的に契約解除できるものとします。

*2014 年、このような重大かつ深刻な事例が 1 件発生したための対応措置です。この事例について経緯を詳細にご説明いたしますのでお申し付けください。

- ・納期を 3 カ月以上経過、または別途契約書により定めた厳守納期を過ぎ目的物合成の目処が全く立たず、代案もご提案できないと弊社が判断する場合は合成不成功としてキャンセルに応じます。この場合費用は一切ご請求しません。

7-6 お支払方法：銀行振り込み、手形等、ご指定の方法で結構です。振込手数料、収入印紙、切手代等、お支払い手続きに関わる費用は見積に含まれませんのでお客様が全額ご負担いただきますよう、お願いいたします。

7-7 見積書、契約書に特別な記載がない限りギブアップ時は原料費を含め一切ご請求しません。下記の2点注意事項がございます。

- ・見積には通常、ギブアップ時のリスクとしての各種弁償（御支給試薬使用分の弁済、不成功によるお客様の不都合への賠償等）、報告書提出、お客様訪問によるご説明費用等は含まれません。見積書備考欄または契約書に明記ない場合はご容赦ください。
- ・ギブアップに至った報告書作成、実験データ提出につきましては有償で承ります。

8. 輸送時の紛失対応について

2015年4月、運送会社に委託した納品物を運送会社が紛失という重大事件が発生しました。

- ・着日指定で冷蔵便発送したが予定日を過ぎても連絡なく、運送会社に問い合わせをしても捜索中とのことで経過報告がない。
 - ・運送会社からの対応待ちの状態が長期化したためその紛失の損害を弊社が100%被る形で対応することに決め、紛失した納品物と同等品を後日再送することでお客様のご理解を得た。
 - ・責任者からの口頭謝罪もいつ、どこで、誰が紛失したかに関する報告はなくわからないとの回答。この運送会社には紛失を予防する対策も万一の責任を負う体制もないことが明らかとなった。
- 一般に利用する運送会社は安価で便利ではありますが、紛失のリスクを今まで意識することがありませんでした。本件で“安かろう、悪かろう”を理解した上で利用する必要があるという教訓を得ました。

今後下記対応を取らざるを得ないことをご理解いただきますよう、お願いいたします。

- ① 万一納品物が輸送中に紛失した場合は無償で再合成いたしますが、お客様にも下記リスクがかかってしまうことをご理解いただきますよう、お願いいたします。
 - ・紛失が明確になった時点で経緯報告と共に代替品をお送りする手配をいたします。
 - ・代替品在庫がなく再合成が必要となる場合、すぐに再合成着手いたしますが納品が大幅に遅れる事態になることをご了承頂きますよう、お願いいたします。納期厳守のご契約も含め、納期遅れを理由とするキャンセルはご容赦ください。
 - ・原料ご提供が前提のご依頼の場合、追加ご提供をお願いいたします。
 - ・高価な（単一品で受注金額総額の5%以上相当）原料の追加購入費用をご負担願います。
 - ・原料再入手困難等、再合成等による対応が物理的に不可能になる場合はキャンセルでご相談させて頂かざるを得ませんがご提供いただいた原料のご返却、保障はご容赦ください。原料の合成が可能な場合は合成費用について別途ご相談させていただきます。
- ② 紛失して補償金を受け取ったとしても合成品が戻ってくるわけではないことと、金額に見合う保障がないため、弊社としては原則宅配便に保険を掛けません。
- ③ 特にご指定のない場合は弊社で適切と考える納品方法を選択いたします。
 - ・ご指定の宅配会社がある場合は対応させていただきます。お客様が必要とご判断される場合は保険込みの宅配便契約をお願いいたします。お客様ご指定の宅配便を使用する場合出荷時に納品完了とし、紛失のリスクはお客様がご負担となりますのでご了承頂きますよう、お願いいたします。
 - ・弊社社員による直接納品をご指定の場合、納品にかかる実費に加え人件費分が上乗せとなります。
 - ・お客様にご来社いただき直接手渡し納品とさせて頂ける場合、相応分を割引させていただきます。お渡しした時点で納品完了となります。

9. 小分け、溶液調製、保管等オプションサービス

- ・小分けは有償で承ります。5mg程度から数gまで、スクリュュービン、アンプル、あるいは御指定の容器に小分けいたします。溶媒に希釈して溶液として小分け、混合溶液の調製・小分けにも対応いたします。
- ・溶液調製、混合希釈溶液調製にも対応可能です。
- ・特にご指定がなければ弊社で適当な容器を選択いたします。容器購入代金別途またはお客様からのご提供でご指定容器にも対応いたします。容器の形状により作業効率が変わり小分単価に反映しますのでご了承ください。
- ・合成品の品質保証は小分け前までとさせていただきます、小分け作業中、小分け後の分解等は保証外でお願いします。
- ・有償で合成品を弊社で冷蔵保管・在庫管理・安定性試験等にも対応いたします。また弊社合成品以外の一般試薬の弊

社保管・在庫管理も有償で承っております。保管中の分解につきましては補償できませんのでご了承ください。

・上記全てご発注前にお申し付けくださいますよう、お願いいたします。ご発注後でも対応させていただきますが大変割高になります。特に合成完了ご報告後の小分けご指示は以下の理由により極力避けていただきますよう、お願いいたします。①一旦乾燥したものを再溶解、小分け、乾燥の追加作業が必要となり分解のリスクが高くなるが、お客様のリスク負担となる。②納品までの保管中分解の危険性がある③追加作業分を上乗せ請求となってしまふ。

・合成完了後に小分けご指示を頂く場合、合成作業は一旦完了として納品書、請求書を発行させていただき、小分けは別件として承ります。

1 0. 合成法開示について

・**合成法、合成中間体は原則非開示です。**合成法開示を含む合成報告書提出をご希望の場合は必ずご発注前にお申し付けください。合成法開示+合成法報告書作成のための費用を含めた見積書をご提示いたします。ご発注後の合成法開示、報告書提出等のお申し出は下記例外を除き、全てお断りいたします。合成法開示等を必要とされる場合は、開示前提でのリピート合成新規ご依頼をお願いします。

・論文投稿、特許出願が目的で合成法記載が必要且つ弊社と共著または論文中に弊社名を明記頂ける場合

上記に該当する場合、論文または特許の提出化合物の合成法実験項以外の原稿が出来上がった時点で合成法開示についてご相談させていただきます。原則無償で合成法を開示いたします。

納品時または早期に合成法開示が必要とされる場合は以下の対応でお願いいたします。

- (1) 合成法開示+合成報告書提出費用を上乗せした見積を再提出いたします。
- (2) 弊社名を論文等に記載頂ける場合、下記(3)～(6)の要領で費用を割引いたします。
 - ① 弊社を共著にさせていただける場合は、合成法無償ご報告に加え合成費用の割引も含め別途ご相談
 - ② 弊社名を論文または特許中に明記頂ける場合は合成法を無償ご報告
 - ③ 学会予稿集、その他著作物媒体に弊社名を記載頂く場合は別途ご相談
- (3) 合成法開示後に合成法開示+合成報告書提出費用をご請求致します。
- (4) 特許出願、または論文がアクセプトされた後に、コピーを一部弊社までお送りください。
- (5) 割引額(原則、上記(3)と同額)を折り返しご報告いたします。
- (6) 別件でご依頼頂く際に(5)相当額を請求金額から割引させていただきます。有効期限はございませんので、ご都合の良いタイミングでご発注時にお申し付けください。

・合成法開示には合成スキームとごく簡単な合成法記述のみが含まれます。収率、生データ開示等実験処方の細かい開示や実験ノートコピー提出、追加分析、追加実験実施、技術指導・トランスファー、貴社による実験再現保証等は含まれませんのでご発注前に個別ご相談させていただきます。

・論文のために必要とされる追加実験、分析等は別途費用で対応させていただきます。

お問い合わせ時の注意事項もご発注前に再度ご一読いただきますよう、お願いいたします。

本項に記載の細かい事項は過去弊社で実際に苦労した経験です。これらを繰り返さず余計なエネルギーを浪費しないこと、即ちお客様の満足度を最大にすることが目的です。

不都合な項目、お気づきの点がございましたら個別契約書により対応いたしますので必ずご発注前にご相談させていただきます。

こんなご要望のお客様は是非！

1. 合成法がわからない。

合成法が不明なものは当社で無料調査いたします。

2. 他社に依頼したがギブアップされた。

このケースは当社では頻繁に受けており、数々の成功実績がございます。必ず出来るとは申しませんが、自信があります。そのものの合成論文があれば95%以上(過去の実績)の確率で目的物が得られます。

3. 合成法の改良をしたい。

お客様の要求事項をより多く満たす、改良合成処方を確認いたします。合成を実施しながら気づいた点を次々とご提案出来ます。

4. 合成法を調べて欲しいが合成は委託せずに自分で合成する予定。

弊社受託文献検索サービスを活用ください。文献検索・合成ルートの設定ご提案だけをご依頼いただけます。合成の専門家の視点で検索いたしますので他では得られない情報をご提供できると考えております。検索は主にSTN等を使いますが、弊社独自のDBも活用し、これまでの経験を駆使した合成ルートもご提案致します。

5. 秘密保持が必須。

受託合成ビジネスの最重要条件と考えます。秘密保持契約に対応いたします。特に秘密保持契約なしでも内容は勿論、お客様の了解無しにはお取引の事実すら一切社外に公表致しません。化合物ごとの独占契約にもご相談に応じます。また弊社はどの大手企業とも資本関係がなく、情報リークの心配がございません。

6. 手続きの関係で正式注文したら必ず成功させて欲しい(ギブアップでは困る)。

弊社は成功報酬を基本としておりますので右記手順でも対応させていただきます。→①仮見積書を提出して合意いただいた後に弊社のリスクで予備検討を行います。②合成の目処が立った時点、あるいは合成が完了したところで正式見積書提出・ご発注手続きという順番です。

7. 超高純度品が欲しい。

HPLC 精製、再結晶、カラム精製が得意です。安定性に問題がなければ99%以上の純度品 100mg 程度を確実に短期間で出来ます。安定性試験に関するノウハウも蓄積しておりますので、分解しやすい化合物の精製につきましてもご相談ください。

過去に金属フリーについてお問い合わせを頂いたことがございますが、残念ながら弊社はノウハウを持ちません。TLC、HPLC またはGCで認められる不純物ピークのみが対象ということでご理解願います。

8. 合成できる構造の提案を依頼したい。

お客様のシミュレーションで得られた候補の中から安価に合成できる構造をご提案いたします。構造活性相関の研究も過去に手掛けていましたので、ご研究の詳細を公開いただければきっとお役に立てます。ご研究の背景と目的をお伺いして使えるような構造を探索した結果、最初にご提示頂いた構造と比較すると1/5以下の金額をご提示できたケースもあります。

9. すぐに欲しい。

お急ぎの場合はお気軽にご相談ください。超特急で合成に対応いたします。全量納品は困難でも必要最小量を先行的に最短納期で提出できるような合成計画を立てます。但し弊社の戦力と受注残の兼ね合いで納期内に出来ないものはすぐに判断して明確に回答します。出来もしないことを安請負してご迷惑をお掛けすることは致しません。

10. 進捗具合が知りたい。

進捗状況は概ね2週間~2カ月に1回のペースでメール報告いたします。難航案件はご報告頻度が高くなります。ポイントごとに中間報告書提出にも対応いたします。難航する場合は特に丁寧な報告書を提出してお客様に状況を把握頂きます。

11. mg以下の少量で十分。

HPLC 精製により99.5%以上の超高純度品を短期間で提出します。

12. スケールアップを視野に入れた合成法確立を。

当社設備ではキログラムを超える大スケール合成には対応できませんがスケールアップ可能な処方確立のお手伝い致します。

13. 自分で合成したが高純度品が得られない。精製法がわからない。

未処理品でも反応液のままでも何でも結構です。少量ご提供いただければ高純度精製方法を確立して金額、納期をご報告します。

14. 海外から輸入したが不純物が多くて使い物にならない。

当社の精製技術を是非お試しください。但しグラム以下の少量でお願いします。

15. 他社製品の主成分だけが欲しい。

合成にはこだわりの必要はありません。例えば錠剤からの抽出、精製により合成よりも安価に目的物が得られることがあります。

16. 安定性に不安がある。

不安定性要因次第で別途ご相談となりますが、pH、温度、光等の条件を変えて安定性試験を行い、安定な条件を見つけ出します。うまく見つからず高純度品が得られることに繋がります。長期保存安定性の評価も承ります。

17. 市販品があるが高価でもう少し安く手に入れたい。

市販で手に入る場合はほとんどのケース特注よりも遥かに安価に入手できるのが通常ですが、概ね 10 万円/10mg 以上の単価で、50 万円以上のご予算であれば当社で合成した方が安価に出来る可能性がございます。

18. 検討した成果は全て自社に権利が欲しい。

当社では化合物及び合成法の一切の権利を主張しません。契約書に盛り込むことも応じます。

19. 成功報酬。合成できなければ支払いしない。

発注前に特に定めがなければ、目的物が合成できない場合は原料費を含め一切ご請求いたしません。予想以上に難航しても追加費用をご請求しません。明らかにハイリスクと予測できる場合のみ見積段階から受託研究の形でお願ひしております。

このような場合は・・・

1. 一般的で良いから、概算の金額が知りたい。

・・・というご意見を多数頂きましたので、弊社HP上で例題を公開しています。

<https://schem.jp/document/samplesynth.pdf>

どのようにすれば安くできるかヒントも提示させていただきます。特注合成の場合、市販の化成品と比較すると格段に高額です。簡単な反応でも 10 万円以下になることはまずありませんのでご留意ください。

2. 手続き上、相見積が必要

弊社は以下の理由により相見積をお断りしていますが、手続きルールにより相見積必須で且つ以下をご理解いただけるお客様、価格と納期だけで決めるわけではなく、総合的判断で決める方針のお客様は是非弊社にもお問い合わせください。

- ・見積に多大な労力と費用を要する。：一般試薬販売と異なり、特注合成の見積作業は簡単ではありません。合成法調査にかかる労力と検索費用。ケースごとに想定されるリスクのご説明とおお客様の要求事項に沿った見積内容にするためのすり合わせが必要な場合が多く、最低でも半日、複雑なケースでは 1 週間以上要することもあります。受注率の低下は弊社採算性に直結しますので受注可能性の低いお問い合わせはご勘弁願ひたいのが本音です。

- ・相見積案件の受注率が極端に低い：値段だけで機械的に決めるお客様の受注率は極めて低かったということが過去の実績です。お客様の本気度も低いと言わざるを得ず、大抵は見積書をお出ししてもなしのつぶてでご質問、確認メールも一切なしです。見積有効期限頃に確認のメールを差し上げたら“値段が高いのでキャンセルします”の一言で終わり。各化合物合成の際の様々なリスクをご説明して、ご理解いただいたことを前提で価格を下げる事が可能ですが、このプロセスが全くないのではお客様の重要なご要望に応えることも、信頼関係を築くこともできません。

- ・合成成功率の高さ：同じ化合物でも合成法は一つではありません。弊社では考え得るできるだけ多くの合成ルートを設定した上で、それぞれの長所とリスクを理解した上で最適と考えるルートを元に見積りますが、いざ受注になり第一選択が期待通りに行かない場合は第二選択のルートを検討します。この場合も弊社にお追加費用を請求しません。二通りの合成ルートを同時進行し、先に結果を出せたルートに絞り込むというやり方を採用する場合もあり、一日も早い納品を目指しています。

- ・リスク予知能力：工程数が短くなれば見積金額を抑えられますが、分離困難な副生物を予測、回避するため敢えて工程数の長いルートを採用することがあります。

- ・同じ化合物でも品質が異なる：注文住宅と同じと申し上げればよいでしょうか。同じ間取りでも施工業者で値段が全然違います。不純物を分けきれていない、分析条件が不適切、経験豊富であれば予測し得た副反応を理解できなかった等、数々の要因により一見、クロマト純度が 100%でも、実態を反映できていないケース、試薬の選択ミス、細かい手順の違いにより分離困難な副生物が生じてしまった、NMR の微妙なケミカルシフトや同定できない細かい不純物ピーク、TLC のわずかな発色の違いを過小評価して判断を誤ること等々、弊社内で日常的頻繁に起こっています。重要なことはそれらの判断ミスを外に出さないことです。受託合成経験 30 年以上の百戦錬磨、反応機構を熟知したスタッフ、分析会社出身のプロ、各反応のスペシャリストを交え、何度も社内ミーティングを繰り返し細かい判断ミスを排除する体制が弊社では整っています。納品時はボトル 1 本と試験成績書 1 枚だけですが、その中に弊社の、他社にはないノウハウが全部詰まっています。ここが弊社の一番の競争力であると自負しています。

3. 新成化学と取引実績がないので代理店や商社経由で取引したい。

商社様・代理店様を経由すると仲介手数料（中間マージン）が上乗せになってしまいますので当社との直接取引をお勧めしますが、手続き上必要な場合はご希望の商社、代理店様等経由にも対応させていただきます。

① 弊社とお客様の直接交渉で金額を確認した後に代理店様に仲介をご依頼頂くことで仲介手数料込み総額の透明化に繋がります。

② 伝言ゲームは非効率です。技術的内容に限らず価格交渉も弊社と直接交渉することで、より安価な価格をご相談可能です。

以上の理由によりお支払い手続きは代理店様経由ご希望の場合でも、まずは直接弊社にお問い合わせ頂き、詳細を詰めた後に支払い手続きのみ代理店様経由をお勧めいたします。

4. 論文投稿のため、詳細な合成法を開示してほしい。

合成法開示は上乗せ料金で対応させていただいており、発注後の合成法開示のお申し出は全てお断りしております。論文投稿に必要とされる場合のみ例外的に無償対応させていただく場合がございますが御発注後のお申し出はお断りする可能性が高くなります。ご発注前に必ずお申し付けください。

5. 海外からのお問い合わせ

弊社ではこれまで日本国内市場に特化して海外からのお問い合わせには対応していませんでしたが、2017年から仲介いただけることになりました。今後海外からのお問い合わせにも今後徐々に積極的に対応いたします。お問い合わせいただきましたら仲介商社よりご連絡させていただきます。HP資料等英語版の対応はまだ全くできていませんが、今後の課題として取り組みます。とりあえずは弊社で公開中のリスト記載の化合物（下記）のお取引から始め、徐々にカスタム合成にも対応できる体制を作って参ります。

<https://schem.jp/Topcompound.html>

6. SDSが欲しい

弊社HPで記載の化合物につきましては化合物番号をお問い合わせ頂ければSDSのURLをお知らせいたします。特注合成品につきましては別途対応させていただきます。

こんな場合は他社にご相談ください。

1. 値段だけで勝負。交渉の余地なし。相見積で単純に安いところに発注。

当社の最大の特徴は成功報酬です。検討の結果、目的物が全く得られなかった場合は一切ご請求しません。予想以上に難航する場合も原料費を含め追加費用を御願ひすることはございません。異なるサービス内容で他社と見積金額だけの比較で決められるのは本意ではありませんので、相見積は原則お断りします。弊社の独自技術、サービスを評価していただけるお客様とのみ永くお付き合いしたいと希望いたします。他社に全て断られて選択肢がなくなった時点で当社にお問い合わせください。きっとお役に立てると思います。

2. 1gを超える大スケール合成。

キログラム以上のお問い合わせを年に数件の頻度でいただいているのですが、残念ながら弊社では設備的な制約から対応不可能です。当社の反応容器は最大 2L です。これに対応可能な範囲になりますが、実際には 1L 容器を使用することはほとんどなく、100mg 以下の小スケールが受注の 95%以上を占めています。また初回合成では 100mg を超えるスケールの合成は原則お断りできません。リピートご依頼の場合のみ、精製法次第ではございますが最大 100g 程度まで別途ご相談です。

3. GMP・GLP 対応を希望。

弊社は基礎研究・開発研究のサポートに特化しているため残念ながら GMP に対応しておりません。その分、納期、価格、開発力に注力します。GMP 準拠であればご相談です。GLP も当社設備では対応出来ませんが、頼れる分析会社をご紹介します。準拠は別途ご相談です。

4. 検収はアッセイ・活性のみで評価で機器分析データは考慮しない。

機器分析結果と活性評価活性評価で矛盾する結果が得られた場合、前者を優先とさせていただきます。数値が期待よりも低い場合は追加費用でご相談には応じますが、微量の不純物が活性に影響する場合は多く改善は容易ではないという認識です。

5. 発注する意図が無い。

当社では見積を原則無償で対応させて頂いておりますが、見積作業にかかる手間や検索費用が一般試薬販売の見積とは比較にならないほど莫大にかかります。見積作業だけで一ヶ月以上悩み抜くこともザラにありますが、いざ発注頂いた後で想定外の難しさに気付くことになるため手抜きも出来ません。当社のお得意様の受注率（受注件数 / お問い合わせ回数×100）は平均して 40%以上です。初回お問い合わせのお客様の場合は平均 10%未満ですが、1 回でも発注頂いたお客様はお問い合わせ頂く度に受注率が急上昇する傾向がございます。最初は様子見でお気軽にお問い合わせ大歓迎ですが、弊社の金額や対応の質が徐々に理解できたら概ね 3 回目までのお問い合わせでご発注頂きますよう、お願いします。お得意様へのサービスの質低下を避けるため受注率の極端に低いお客様につきましてはお問い合わせ時のご予算のご提示を見積対応の条件とさせて頂きたく＋予算内の見積金額で発注の確約前提での見積対応といった、割り切った対応にならざるを得ないことをご容赦ください。

6. 市販品がある。

一般市販試薬と比較すると特注合成では数倍から数十倍の値段になります。市販品が入手可能な場合は、迷うことなく市販品ご購入をお勧めします。市販品で純度に問題がある場合は精製でお役に立てると思われまますのでお問合せ下さい。

7. 100%間違いないものを納品してほしい。

開発費用、納期に限られた範囲で現実的な見積をご提示しなければ受託合成がビジネスとして成立しない現実があります。証拠データを無数に積み上げることで 100%に限りなく近づけることは可能ですが、全く想定外の副反応の可能性はゼロではなく断定は困難です。また考えるすべての構造確認を見積にすべて盛り込むと費用と納期が大幅に膨らみますので目的物であると判断できる必要最小限の分析を行う内容で見積をご提示し、ご了解いただいた上でご発注頂きます。見積書記載以外でお客様が是非必要と考えられる追加分析手段につきましては別途費用でご相談させていただきます。